亜米利加丁時報

CORREO ARGENTINO
FRANQUEO PAGADO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

發行所 亞爾然丁時報社
ブエノス・アイレス市
ウスパリアタ街九八一
電話（二三）七〇五一
購讀料 一ケ月 二 弗

Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 23, 7051

ソロモン、ニューギニヤ方面
航空戰の樣相は日毎に苛烈

【東京廿二日同盟】二十二日大本營からソロモン群島、ニューギニア方面の戰果が發表されたがソロモン方面空中戰の詳細は左の如くである

一月十五日午前ソロモン群島方面のわが基地に對し敵は戰爆聯合の三十六機及び十六機の二編隊をもつて來襲し來り折柄哨戒中の我戰闘機はこれと壯烈なる空中戰を演じた結果、ピー卅九型二機、グラマン六機、ピー卅八型四機の戰闘機を撃墜し敵の出撃企圖を挫折せしめた、更にこの日午後海鷲、陸鷲に護衛されたわが輸送船團がソロモン群島の友軍に補給ずべく進航中敵戰闘機十八機が來襲し空中戰となつたが敵は四機を撃墜され愴惶として敗走したのである、而して同方面の彼我海上輸送をめぐる航空戰の樣相は日毎に苛烈となつてをり敵は執拗にわが補給を阻まんと出撃し同方面における敵出撃延長機數は一日三百機にも上つてゐる

重大事潜水艦の脅威
米英兩國對抗に腐心
反樞軸海軍力の試錬時か

【リスボン廿一日同盟】英首脳あるノーブルは華府において相チャーチルは目下華府にあつて潜水艦の脅威が極めて重大で米大統領ルーズベルトとの所謂四巨頭會議の結成ならびに戰爭に關する『實行取極』につき協議中で、近く反樞軸國共同作戰に關する具體案特に歐洲ならびに東亞における反攻作戰の指導方針が決定されるだらうと傳へられるが、他方樞軸潜水艦の各水域にわたる猛烈な活躍ぶりは米英兩國の言論機關が今や一齊にその脅威を指摘するに至つた、すでに米國戰時情報局總裁エルコー・デヴイスは『一月二十日までに大西洋において撃沈された商船噸數は前月のそれに比し著しく增大した』と述べたが、西方水域司令として重大な所以を指摘し次の通て英國の糧道防衛に當つた經り述べた

樞軸潜水艦の脅威は極めて重大で即時有効な方策が講ぜられなければ反樞軸軍は現在の海上勢力を喪失するに至るであらう、潜水艦戰には護送艦艇を增加することが先決要件だが護送にはコルヴエット艦では不充分で驅逐艦を思ひ切つて增やさねばならない

さらに英海相アレキサンダーは過去三期間にわたり英本國艦隊を基地において檢閲した際、一九四三年における英國海軍の任務が極めて重大な所以を指摘し次の通

今回の大戰がはじまつて以來英國の驅逐戰隊は他の各艦隊に比しさらに廣い範圍にわたつて作戰に參加しその結果極めて重大な損害を蒙つた、英國海軍が新艦を建造して驅逐艦を補充出來たことは蓋し奇蹟といつてよからう、現在對潜水艦戰の第一線に使用出來る驅逐艦ならびにコルヴエット艦などは五百隻を突破するがうち二百四隻のコルヴエット艦は開戰以後の建造に屬する、いづれにせよ樞軸軍は非常な意氣込みをもつて通商破壞戰に乘り出し殊に新型潜水艦を多數使用し大擧到るところにおいて護送船團を待伏せしてゐる實情で一九四三年において反樞軸國海軍力は最も苛烈な試錬をうけるだらう

高等學校以上の新設
四大都市には不許可

【東京廿二日同盟】都市にのみ學校が偏在するのは國防上教育上好ましくないとの見地から文部省では四大都市に高等學校以上の學校新設擴張を許さないことゝし、特に學校の多い東京市大阪市では中等學校の新設をも禁止するに決定この方針は早速二月から實施することになつた、尤も之は飽まで原則とするものであるが時局下緊急な工業關係の學校或は特別のものは許可する方針である

四ケ國戰略會議に
蔣介石も渡米出席

【廣東廿二日同盟】重慶より問中であつた何應欽は急遽重の情報によればルースベルト慶に歸還蔣介石の訪米中の軍の招請に應じ米國において開務一切を代行することゝなり催される米英蘇蔣四ケ國戰略馮玉祥、白崇禧、程潛をして會議に出席することゝなつた これを補佐せしめることに決蔣介石は近く重慶を出發訪米定した、なほ今次四ケ國會議することになつたと傳へられ に重慶側より提出すべき作戰るが、このため先般來印度訪 計畫も國防最高會議によつて

東部戰線イルメン湖東南で
殲滅寸前の赤軍大部隊

【伯林廿一日同盟】獨軍司令部は二十一日東部戰線イルメ左の如く發表した

赤軍は有力な戰車隊を先頭にイルメン湖東南方の獨軍陣地軍は數日間にわたる激戰の後遂ひに赤軍の後方を遮斷した れを救出せんものと執拗に攻撃を繰返して來たが獨軍は悉 の包圍網を壓縮し殲滅戰を展開、赤軍は現在まで死者七百、 殲滅は寸前に迫つてゐる

日獨伊經濟協力協定
（情報局二十一日發表）

【東京廿一日同盟發經】濟協力の有効期間を有しこれが趣旨立せんとするものなり、而しに關する日獨協定及び日伊協を經濟部面において具現するて兩協定は各種經濟給付の廣定締結に關する情報局（廿一ものにして三國條約を擴大強汎なる交換を促進することを日）發表 化せるものと謂ふべし、日獨規定し經濟上及び金融上のあ

本年一月二十日獨逸國總統大伊三國は三國條約により確立らゆる點に關する協力を規定本營において大島駐獨大使及せる政治的連繋を終始強化し びリベントロップ獨外相は經するものなり、日本國及び獨濟協力に關する日本國、獨逸びリベントロップ獨外相は經つゝありたるところ、今やこ逸國間において並に日本國及國間協定に署名調印せり、又に兩協定を締結し以て雄大び伊太利亞間において締結せ

同日羅馬において加瀬駐伊代なる經濟計畫を樹立し大東亞られたる協定内容左の通り 理大使及びチアノ伊外相は經及び歐洲の二大經濟圈の總力 〔經濟協力に關する日本國、

濟協力に關する日本國、伊太利亞國間協定に署名調印せ 利亞國間協定に署名調印せ り、右協定は三國條約と同一

爭においてその經濟總力を擧げて相互に援助するとゝもに戰爭の勝利をもつて終結したる後においてそれぞれ兩戰の經濟圈内において廣汎なる建設計畫によりあらゆる當該民族の共存共榮を確保すべき新秩序を實現せんがため兩國政府間の經濟協力を一層緊密ならしめんことを決意せり

なほ獨逸國總統大本營において經濟協力に關する日本國獨逸國間協定の署名調印ありたる直後、東京において谷外務大臣とオット獨逸大使及びウオールター獨逸經濟使節團長との間に貿易、技術協力及び支拂に關する具體的細目を含む三取極を妥結せり、また前記日伊間協定の實施に關する細目については目下兩國間において商議中なり

日獨伊三國經濟協定成立に
大東亞共榮圈盟邦贊成

【新京廿一日同盟】日獨伊三國經濟協定成立に關し滿洲國政府當局は左の如き見解を表明、亞歐樞軸の緊密なる提携戰爭遂行に對する日獨伊三國間の共同戰線は經濟方面單として日獨伊協定成立に滿でも一層強化され大東亞建設のためまことに心強い限東亞經濟けん確立に邁進すべ りだ、三國の有する經濟的實力の總力を結集することは樞軸側戰力の增強に一般の強味を加へるものであり經濟協力協定は樞軸三國の世

それだけ米英打倒を速めそ界新秩序完成の不動の決意をものである、わが國も今回示すものとして滿腔の贊意を の協定成立に順應して更に表し、大東亞經さいけんの一 對獨伊貿易提携の飛躍的發環としても前途の光明を改め 展に資したいと考へてゐる て認識するとゝもにその責務

〔南京廿一日同盟〕中國側での重大性を痛感してゐる、一 は大東亞經濟圈を構成する一方日佛印間決さい樣式の決定 國間の共同戰線は直接大きな影響はないが佛 腔の贊意を表し今後一段と大印が圓決さい區域内に包含さ 東亞經濟けん確立に邁進すべ れた結果大東亞における圓決 りだ、三國の有する經濟的 さい機構は全く確立し、今後 きことを誓つてゐる 代つて武道戰場運動を一段と

〔盤谷廿一日同盟〕泰國經濟 強要すべし」と決議したので 泰國の貿易もいよ〳〵圓滑化 近く各學校に指令するとゝも するものと期待してゐる に漸次全國にも呼びかける筈

北阿水域の獨伊空海軍新戰果

【伯林廿一日同盟】獨軍司令部二十一日發表によれば北アフリカの獨伊軍はアルジエ港を空襲して軍事施設を爆碎しそのほか輸送船二隻を撃沈他 九隻に大損害を與へまた獨潜 水艦もアルジエ西方で六千噸 級商船一隻撃沈一隻大破の戰 果を擧げた

慎重熟議の上ほぼ完成した模樣といはれる

重慶の不滿

【リスボン廿一日同盟】最近倫敦駐在重慶政府宣傳部長は米大統領が去る六日の議會で 行つた演説の中に『米國は墳 墓を運んで來ないので重慶は現 從前と同量の物資を重慶に送 つてゐる』と言明僞言してゐ

るが、墳墓公路が封鎖されてからといふものは當時輸送途上にあつたものゝほか重兵器は一個も重慶に到着せず、飛 行機も重慶の必要とする武器 は一隻も重慶の必要とする武器 は一隻も重慶に到着せず、飛 行機

東部戰線における一九四二年の戰鬪

（カピタンMの所論）

ベルリンから電波に乘せて常にエル・バンベーロ紙上に得意の軍事評論を寄せてゐるカピタンM、ミランダ大尉は、東部戰線における赤軍の〝冬季攻勢〟に關聯する聯合國側の虛構宣傳を粉碎する意味で、一月十三日附バンベーロ紙上に次の如き一文を發表した。一の戰時記錄として興味あるゆえ茲に譯出御紹介しよう。

（記　者）

〔一〕

凡そ戰爭に關する宣傳ほど現在の戰鬪經緯ならびに來るべき春季に展開されるであらつてホロ苦い追憶となることがこの論文の目當である。そう物事を判斷するために役立の宣傳といふのは、今日アメリカ一帶に喧傳されてゐる〝荒唐無稽〟のソ聯の攻勢であつて、それは昨冬の宣傳の如く夏來りなば如何に虛構であつたかを露呈し、さやうな〝喧々囂々の勝利〟のあとでヴォル河々畔に押込められてしまつた類のものである。讀者諸君は次の如きラ・プレンサ紙やラ・ナシオン紙の報道を記憶してをられるであらう？

スモレンスクの陷落は時間の問題だ、手摺彈を手に市街戰が行はれてゐる

スタラヤ・ロシヤは包圍された

獨第十六軍司令官は自殺した

ヴィテルブスクが占領された

スターリンは軍首腦連と會議しロシヤ領から獨軍を撃退するのみならず、ドイツ侵入の作戰計畫をも協議したかく作意的に眞相を歪曲することを、ブエノス・アイレスの所謂まじめな新聞紙は毎日繰返した。

今日、これと全く同樣のことが惹起されてゐる。即ちそれら新聞紙の報道によれば、ドイツ軍は全線總崩れでありスターリンの軍隊は勝利の進擊を續けてゐるといふのだ。しかしこゝベルリンでは、眞相がわかつてゐる。赤軍の攻擊よりも猛烈なる敵側の宣傳は畢竟無智の者達を喜ばせるにすぎぬので、いまから豫測される戰線に再び大攻勢展開の春が待たてをり、疑ひもなくその準備はすでに全面的に着手されてゐるのである。こゝに一九四二年における東部戰線の戰局概要を記述し、現在の戰鬪經緯ならびに來るべき春季に展開されるであらう